

《参考》「資料2 平成30年度 事業振返りシート」の見方

<b>平成30年度</b>		事業番号 111	<b>各事業の個別番号です。</b> *3ケタは共生ビジョン掲載、4ケタは未掲載の事業です。
<b>① 事業概要</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>魚沼地域の医療再編に伴い、地域完結型医療体制の整備が完了するため、今後は、医療体制の役割分担と連携、医療と介護の連携などが機能的に動くような取組が不可欠となる。医療機能と地域包括ケアを有機的に機能させるため、地域医療連携推進協議会の設置を目指し、連携を進める。</li> </ul>			
<b>② 現状・事業の進行にあたっての課題</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>専門部署の設置が必須である。医療関係者が参加していない。</li> <li>医師会の範囲が異なり、各団体の利害関係もあることなので単純に一緒にやることは難しい。</li> <li>医療従事者（看護師）の確保の取組として給付型奨学金を開始する。4月から介護人材確保緊急支援事業補助金を創設し、年度途中で対象範囲の拡大により3名の申し込みがあった。</li> </ul>			
<b>③ 「KPI」の現在把握値</b>			
コーディネーター雇用数	0 人	(備考)	
<b>④ 今年度に達成する事項</b>			<b>⑤ 左記の実施状況</b> (A,Bいずれかを選択)
<p>1 「地域医療連絡推進協議会」が魚沼地域定住自立圏において担うべき具体的な役割の整理</p> <p><b>②の課題解決に向け、H30年度中に達成するとした事項です。</b> *H30.7に開催したワーキンググループ会議において、グループで検討した内容が記載されています。</p> <p>4 医療従事者、介護人材確保対策の具体化（病院指定管理者が実施する看護師修学資金貸与事業への補助金交付（魚沼市）、看護師修学資金貸与、介護人材確保策（南魚沼市）、町立湯沢病院の指定管理者と修学資金貸与事業等について検討、協議する。（湯沢町）</p>			B
			B
<b>⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載</b>			
<b>今年度中に完了しなかった理由</b>		<b>来年度に取組むべきこと（課題）</b>	
1 各市町が役割を整理し、それを共有する作業の時間が取れなかったこと。		どの程度まで完了できるのかの範囲を決めて現実的な取組を目指す。	
2 「うおぬま・米」 確になるのに時		状況等を精査する。	
3 魚沼市は概ねの整理はしているが、湯沢町は療対策専門部署が針の整理ということができなかった。		<b>⑤がB(未了)の場合、その理由と来年度の取組について記載されています。</b>	
4 南魚沼市：2019年度2名の看護師修学資金貸与を実施するが上限5名にはいたらなかった。 魚沼市：修学資金事業は実施したが、指定管理者の経営状況を踏まえ、補助金交付は見送った。 湯沢町：検討・協議する余裕がなかった。		指定管理者との情報交換は密に行っているが、これを拡大すると財源の問題が出てくる。進展させるかどうかの協議をまず行う。（湯沢町） 各市町独自で実施している医療介護人材確保について共同で取り組む効果を明確にする。	
<b>⑦ 事業実現までの進捗状況</b> (1～4のうちいずれかを選択)			
2		<b>ワーキンググループが、事業の現在の進捗状況を4段階で判定しています。</b>	
<b>⑧(あれば記載) 事業を進める上での障害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>来年度更新</li> <li>地域支援事業</li> </ul>		<b>事業を進める上で、今後調整等が必要になると考えられる事項が記載されています。</b>	

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

3	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している）
	3…実現可能であるが、関係者との調整が今後必要となる
	2…実現可能であるが、関係者との調整が今後必要となる
	1…実現可能であるが、関係者との調整が今後必要となる

【上記で1,2を選択した場合、必ず「いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は」の欄に記入してください。】

現在、湯沢町、おぬま・米ねつは、地域医療連携は推進できる素地は十分にあり、実現する可能性はあると思われる。

年度は「う」地域医療

**ワーキンググループが、事業の実現可能性を4段階で判定しています。**  
\*『1』もしくは『2』となっている場合は、下にその理由が記載されています。

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

3	4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。）
	3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される
	2…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される
	1…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される

【上記で1,2を選択した場合、必ず「広域連携のメリット」の欄に記入してください。】

特に全国的に考えられる。連携による効果は期待できると思われる。

実現すると思われる

**ワーキンググループが、事業の広域連携のメリットを4段階で判定しています。**  
\*『1』もしくは『2』となっている場合は、下にその理由が記載されています。

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

4	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効）
	3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある）
	2…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある）
	1…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある）

【上記で1,2を選択した場合、必ず「人材育成の観点から」の欄に記入してください。】

市町名

南魚沼市

魚沼市

湯沢町

**各市町が、定住自立圏として集まる場を人材育成の視点から4段階で判定しています。**  
\*『1』もしくは『2』となっている場合は、横にその理由が記載されています。

⑫ 確認者の所属・氏名 \*このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	保健課	課長	大平 藤男	
魚沼市	健康課地域医療対策室	室長	吉田 淳	
湯沢町	健康福祉部	部長	田村 雅和	

以下事務局記載欄

今後の進め方

**上記振返りシートの内容(特に⑨、⑩の内容)から検討した、今後の事業の進め方(案)です。**

- \*「事務局(案)」の欄に記載されている内容は、2市1町で協議を行った結果です。(資料3)にも同内容が転記されています。
- \*共生ビジョン懇談会当日は、「事務局(案)」により、各事業の今後の進め方について検討を行います。
- \*最終的には、「事務局(案)」と「懇談会意見」を整理し、ワーキンググループに結果を返却します。